

## ウシハコベ (牛繁縷)

名前の意味<sup>いみ</sup>：大きなハコベの意味。昔から日本に生えていたミドリハコベに比べて大きいから。

分類：双子葉類、ナデシコ科、ハコベ属

(ナデシコ科の栽培植物<sup>さいばいしょくぶつ</sup>：カーネーション、カスミソウ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、林の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた(自生<sup>じせい</sup>)

特徴：よりかかる赤味を帯びた茎<sup>おくき</sup>、スぺード型の対生する葉、小さな白い花

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数<sup>りべん</sup>：離弁、5枚(深く切れ込んで10枚に見える)

花の時期：5—7月

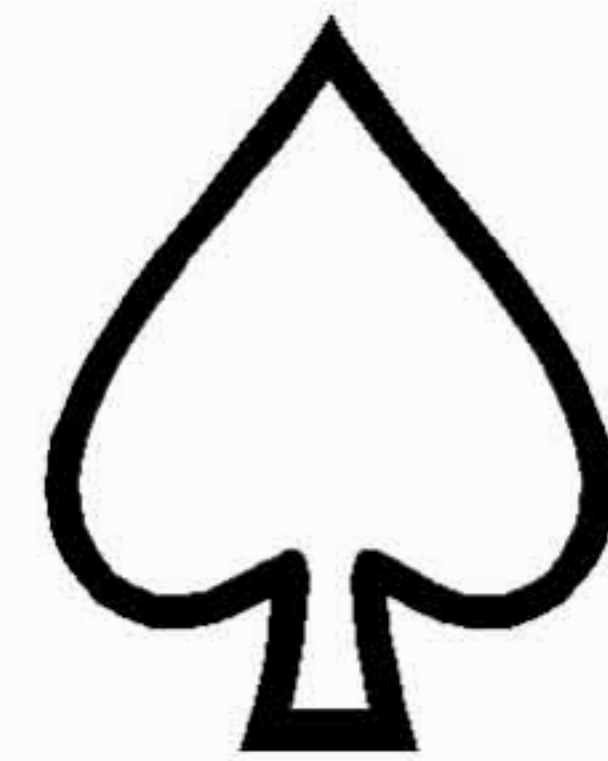
見分け方：コハコベ、ミドリハコベは、全体が小さく、茎<sup>くき</sup>の下部は地面をはい、赤い所がない。雌しべの先は3つに分かれる(ウシハコベは5つ)。

見つけやすさ ★★

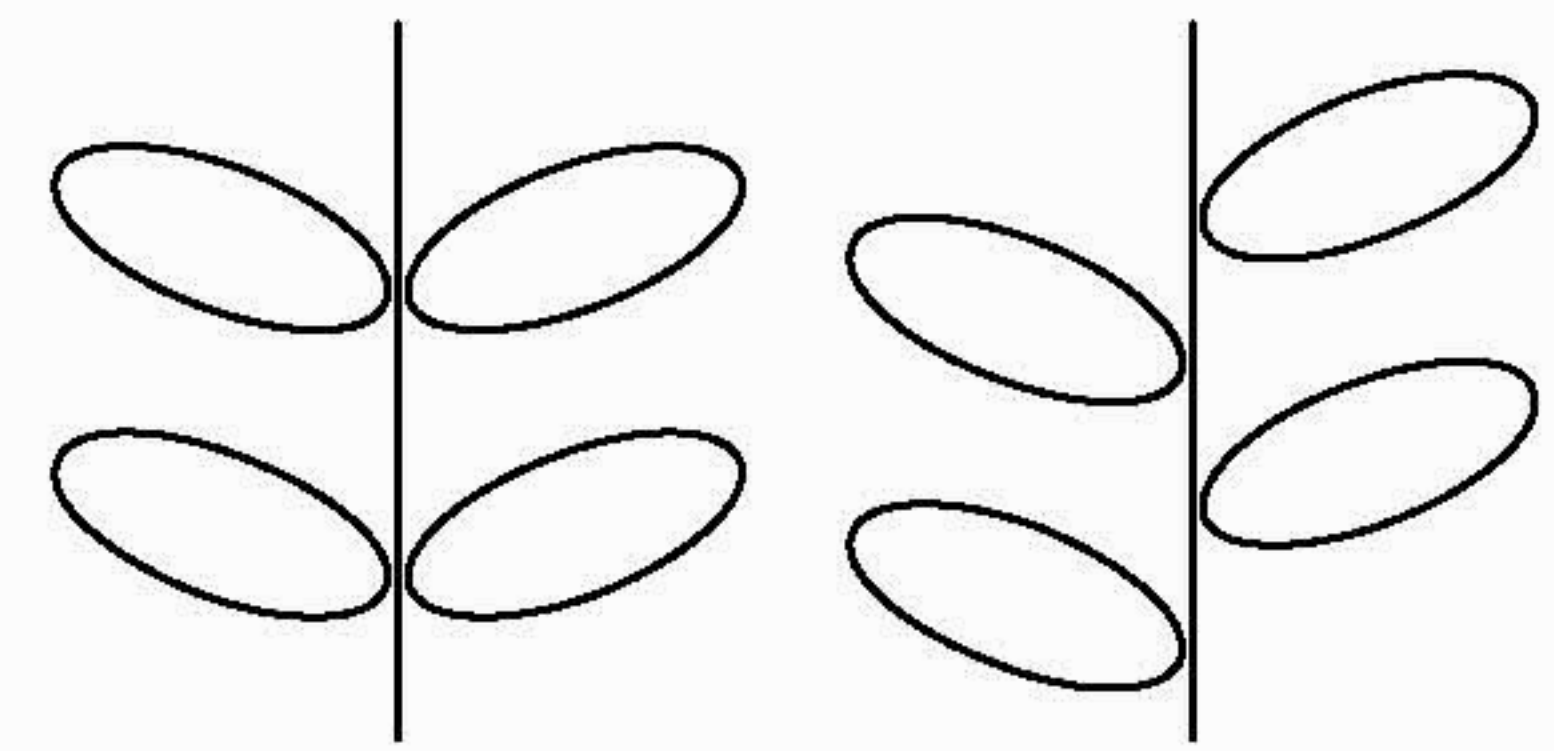
見分けやすさ ★★

総合難易度<sup>そうごうなんいど</sup> ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)



スぺード



たいせい  
対生

ごせい  
互生